



広報せき

SekiGocoro



No.1733



巻頭特集 令和の 学びの スタンダード



SekiGocoro 03

SEKI City Community Magazine

TOPICS

- 私の主張大会 6-7P
- せきてらす 1周年イベント 6P
- INFORMATION 8-22P
- 子育てカレンダー 25P

令和の学びの スタンダード



現代は、スマートフォンやパソコンの普及が進み、私たちの生活や仕事など、あらゆる場面でICT※1を利用することが当たり前となりました。

こうした社会の変化は、今の子どもたちの「学び」にも影響をもたらしています。国は新たな時代を生きる子どもたちのために、教育にICT導入を推進し、全国の学校で児童・生徒に1人1台の情報端末が配付されました。本格的にICTを活用した教育が始まる中、子どもたちはどのような学びを体験しているのでしょうか。今月号は、関市の『ICT教育』についてご紹介します。

ICT教育とは？

デジタル機器やインターネットなど、情報通信技術を活用して行われる教育です。これまで紙の教科書やノートを用いていた授業をパソコンなどで行うようになり、電子黒板※2に表示させて学習したりします。情報化社会を生きる子どもたちの情報活用能力や、創造力を育む学びとして期待されています。



教員の事務作業が軽減され、授業の効率化や質の向上に注力することが可能になります。



授業で使用する資料をデータ化したり、クラス全員の意見などを共有したりすることが可能になります。



紙の教科書とは違い、映像や音声なども利用できるため、学ぶ内容が分かりやすくなり、幅広い学習が可能になります。

ICTの活用で実現できること



「市公式チャンネル」(YouTube)で「ICT教育」特集をお楽しみいただけます。

本特集の視聴期限：令和5年3月31日まで

※1: Information and Communication Technology (情報通信技術)の略。インターネットなどの通信を使って、デジタル化された情報をやりとりする技術のこと。
 ※2: パソコンなどの画面に表示した資料や写真などを投影するディスプレイモニター。

「キーボード付き」
タブレットを配付



関市の 「ICT教育」環境

関市では、
教育のデジタル化に必要なICT機器や
校内無線LAN等の整備を行うとともに、
教育効果を高めるため、
次のような取組を行っています。

キーボード入力は、文書やグラフ、プレゼンテーション資料の作成、プログラミングなどの学習活動に欠かせないものです。重要なスキルにもなるため、キーボードを付属したタブレットを児童・生徒に配付しています。

授業支援アプリを導入



写真・
動画

録音

課題
提出

資料
作成

Web
検索

効率的に学習を進めるため、授業支援アプリを導入しています。児童・生徒と教員の間で、書類データや課題などの送受信、授業で録音や写真・動画撮影に利用するなど、これまでになかった学習ができるようになっています。

電子黒板との連携



児童・生徒が、各自のタブレットで作成した資料を電子黒板に映して発表に利用したり、全員の意見や回答などを一覧にして比較したりすることができます。

ICT支援員を配置



ICTを活用した授業のアドバイスや、機器のトラブル対応などを担う学校ICTの専門家「ICT支援員」を配置しています。教員への指導のほか、児童・生徒にプログラミングや情報モラルの授業を行っています。

オンライン授業への対応



学校を休んでいる児童・生徒向けに授業のライブ配信や、新型コロナや気象警報発令時の臨時休校による自宅でのオンライン授業など、学びを止めないための取組を行っています。

 インターネット環境がない家庭へWi-Fiルーターを貸出しています。

「タブレット」の導入で 授業はどう変わった!?

南ヶ丘小学校
と
下有知中学校
取材しました

配付されたタブレットは、授業でどのように活用されているのでしょうか。
タブレットの特性を生かして行う授業の様子をのぞいてみました。

国語「おはなし作り」

「写真」・「録音」機能を利用して、児童が作った物語の絵を撮影・スライドショー化したり、音読した声を録音し読み聞かせしたりするなど、発表の新たな手段として活用しています。また、「アンケート」機能を使って、子どもたち同士で良かったところを評価し合っています。



体育「とび箱」

「動画」機能を利用して、自分の動きを振り返り、どのように動けば良いか考えたり、アドバイスを受けて、次に生かすことに活用しています。



音楽「合唱」

「録音」・「鍵盤」機能を利用して、歌の音程を確認したり、自分たちの歌声を聴き直したりして、改善ポイントを探ることに活用しています。



給食中もタブレットを活用!?

南ヶ丘小学校では、児童がタブレットを活用して、動画制作にも取り組んでいます。仲間の良いところ紹介や、委員会のお知らせなど、自ら撮影・編集を行い、給食時間に電子黒板を通じて全校に放送しています。



総合的な学習の時間『関の魅力PR大作戦!』で、オリジナル動画の制作に挑戦しました!!

構成や編集など、すべて自分で考えて作りました!



6年生
勝又 愛椛さん 森 柚希さん



子どもたちは、タブレット学習にとっても興味をもって取り組んでいます。自主的に調べたり、考えたりして試行錯誤する姿が見られます。さらに様々な活動の中で、タブレットを当たり前のもので活用していけば、どんどん学びが深まっていくと感じます。

タブレット学習の良いところは、みんなの意見を「共有」できることです。自分との違いを見比べて、みんなはこういう考えをもっているんだと分かるようになりました。今まで以上に安心して学習できるようになったと思います。

ローマ字の読み書きができなかった子どもが、あっという間にタッチタイピングを習得して驚きました。自宅では、宿題だけでなく、クラスで発表するプレゼンテーション資料の作成などにも夢中になっています。楽しみながら学習に取り組めるところが良いですね。



南ヶ丘小学校 田中 みな子 先生



南ヶ丘小学校4年生 与那覇 りあん さん



保護者 与那覇 美穂 さん

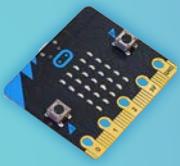


理科 「電気」



プログラミング教育にも活用しています。タブレットでプログラムを作成し、コンピューターにダウンロードすることで、自分が意図したとおりに車を走らせたり、LEDを光らせたりします。プログラムの改良を何度も繰り返す中で、論理的思考力や問題解決能力を育みます。

市内の学校で使われている プログラミング教材



micro:bit マイクロビット

教育用に開発され、世界中で活用されているカードサイズのコンピューター

micro:Maqueen マイクロマクイーン

micro:bitを搭載することで、駆動輪などをプログラムで制御できるSTEAM教育用のプログラミングロボット。



算数「数の計算」

「手書き」機能を利用して、タブレットに表示された教材に直接メモするなど、教科書やペンの代わりとして活用しています。それぞれの児童の考え方や方法をみんなが学べるよう、書き込んだ画像を電子黒板に表示して共有しています。



英語「読解」

紙の教科書をデータ化した「デジタル教科書(英語)」を活用しています。英単語の読み方を繰り返し聴くことができる「収録音声」は、発話の苦手意識払拭や話す力の育成に役立ちます。



「デジタル教科書」は、2024年度の本格導入に向けて準備が進められ、現在は文部科学省の実証事業として配布されています。



下有知中学校3年生
山田 彩禾 さん

デジタル教科書は、とても便利で学力アップに効果のある教材だと感じます。英語の場合、紙の教科書と違って、英単語の発音をタブレットが助けてくれるので、覚えるのも早くなり、理解が深まって、もっと勉強したいという意欲が湧いてきます。「リスニング」テストの点数アップにもつながりました。



まなびセンター ICT支援員
遠藤 和弘 さん

タブレット学習が始まって1年、各学校でタブレットを活用した授業が工夫され、児童・生徒の学びがより充実してきています。さらに向上するために、授業支援とともに、より良いアプリやその活用例などの紹介・交流を行うオンライン研修、プログラミングや情報モラルなどの出前講座にも力を入れたいと考えています。児童・生徒が、タブレットを鉛筆やノートなどの文房具と同じように、いつでもどこでも必要な時に使って学びがますます充実していくことを願っています。

校内のお知らせも、 いまやタブレット!?

下有知中学校では、生徒会や委員会からのお知らせをタブレットで作成し、配信しています。紙を配ったり、掲示板に貼ったりする手間が省けるだけでなく、素早く確実に届けることが可能に。文字の色使いや写真など工夫を凝らした内容で、今までより伝わりやすくなったと高く評価されています。



照会先

まなびセンター(☎23-7760)
学校教育課(☎23-7411)